



## 2022年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月14日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 東 福  
 コード番号 3440 URL <https://www.kakou-nisso.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825  
 定時株主総会開催予定日 2022年11月29日 配当支払開始予定日 2022年11月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年11月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年8月期の連結業績（2021年9月1日～2022年8月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	7,374	△2.1	358	△21.0	396	△24.9	154	△63.8
2021年8月期	7,534	△10.2	453	△38.8	528	△30.3	427	△19.9

（注）包括利益 2022年8月期 153百万円（△64.6%） 2021年8月期 433百万円（△17.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年8月期	23.99	23.71	1.6	3.0	4.9
2021年8月期	66.48	65.26	4.5	4.3	6.0

（参考）持分法投資損益 2022年8月期 ー百万円 2021年8月期 ー百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	14,482	9,727	66.8	1,495.47
2021年8月期	12,220	9,735	78.9	1,501.73

（参考）自己資本 2022年8月期 9,672百万円 2021年8月期 9,648百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年8月期	△519	△673	550	5,052
2021年8月期	1,481	△850	△405	5,695

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年8月期	ー	0.00	ー	25.00	25.00	160	37.6	1.7
2022年8月期	ー	0.00	ー	15.00	15.00	97	62.5	1.0
2023年8月期(予想)	ー	0.00	ー	15.00	15.00		24.6	

### 3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,900	65.5	420	261.8	420	239.1	300	609.2	46.38
通期	9,300	26.1	580	61.7	580	46.2	394	154.8	60.92

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P12「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2022年8月期	7,360,000株	2021年8月期	7,360,000株
2022年8月期	892,350株	2021年8月期	935,350株
2022年8月期	6,444,762株	2021年8月期	6,424,650株

(参考) 個別業績の概要

2022年8月期の個別業績（2021年9月1日～2022年8月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	2,961	△27.3	△280	—	57	△86.1	59	△87.2
2021年8月期	4,072	△13.7	11	△95.2	412	△11.6	466	10.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期	9.24	9.13
2021年8月期	72.64	71.31

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	11,257	9,209	81.3	1,415.36
2021年8月期	10,458	9,310	88.2	1,435.70

(参考) 自己資本 2022年8月期 9,154百万円 2021年8月期 9,223百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は、当事業年度において、太陽電池アレイ支持架台の大型案件の減少や耐火パネルの販売が伸長しなかったこと等により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。なお、経常利益及び当期純利益には子会社からの配当金270百万円が含まれております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17
生産、受注及び販売の実績 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による行動制限の緩和等により緩やかな回復基調で推移する一方で、ロシアのウクライナ侵攻による米欧とロシア間の対立、原油及び原材料価格の高騰、更には急激な円安やインフレ懸念の高まりなどから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に起因する直接的な影響は軽微でありましたが、国内外経済の下振れリスクが生じる可能性があることについては、引き続き留意しておく必要があると考えております。

このような状況の中、当社グループは、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組みましたが、主に金属加工事業において、太陽電池アレイ支持架台の大型案件の減少、耐火パネルの販売が伸長しなかったこと、原材料の調達難、鋼材価格の上昇等の影響を受け、売上高は7,374百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は358百万円（同21.0%減）、経常利益は396百万円（同24.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は154百万円（同63.8%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (金属加工事業)

太陽電池アレイ支持架台の大型案件の減少、耐火パネルの販売が伸長しなかったこと、原材料の調達難、鋼材価格の上昇等の影響を受け、売上高は4,418百万円（前年同期比16.5%減）、セグメント利益は256百万円（同48.6%減）、当連結会計年度末における受注残高は1,228百万円（同8.1%減）となりました。

#### (ゴム加工事業)

既存取引先との関係強化に積極的に取り組んだことで、建設関連、建機関連、土木関連、電力関連、自動車関連等の各種業界向けの製品が堅調に推移し、売上高は1,116百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は259百万円（同19.2%増）、当連結会計年度末における受注残高は119百万円（同17.0%増）となりました。

#### (建設事業)

グループ間の情報連携を図り、太陽電池アレイ支持架台の大型案件は減少したものの、電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、M&Aによりグループ化した株式会社壹会の業績寄与により、売上高は1,839百万円（前年同期比60.1%増）、セグメント利益は150百万円（同331.2%増）、当連結会計年度末における受注残高は2,800百万円（前年同期は163百万円）となりました。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△307百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は9,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,037百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が554百万円減少し、受取手形、売掛金、契約資産が1,111百万円、原材料及び貯蔵品が100百万円、流動資産のその他が217百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は4,787百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,223百万円増加いたしました。これは主に、福島工場の設備投資により、建物及び構築物（純額）が712百万円、機械装置及び運搬具（純額）が199百万円、連結子会社の増加によりのれんが226百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の資産合計は14,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,261百万円増加いたしました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,264百万円となり、前連結会計年度末に比べ334百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加により、工事未払金が220百万円、1年内返済予定の長期借入金が313百万円それぞれ増加し、流動負債のその他が300百万円減少したことによるものであります。

固定負債は2,490百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,934百万円増加いたしました。これは主に、福島工場の設備投資に係る資金調達と連結子会社の増加により、長期借入金が1,726百万円、固定負債のその他が129百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は4,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,268百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は9,727百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は66.8%（前連結会計年度末は78.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ642百万円減少し5,052百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は519百万円（前年同期は1,481百万円の獲得）となりました。主な収入要因は、税金等調整前当期純利益367百万円、減価償却費362百万円及び仕入債務の増加166百万円であります。主な支出要因は、売上債権の増加650百万円、棚卸資産の増加195百万円、未払消費税等の減少192百万円、その他の流動負債の減少299百万円及び法人税等の支払額189百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は673百万円（前年同期は850百万円の使用）となりました。主な収入要因は、定期預金の純減額380百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入246百万円であります。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出1,250百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は550百万円（前年同期は405百万円の使用）となりました。主な収入要因は、長期借入れによる収入2,350百万円であります。主な支出要因は、短期借入金の純減額437百万円、長期借入金の返済による支出926百万円、社債の償還による支出260百万円、配当金の支払額160百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
自己資本比率 (%)	63.7	62.5	76.3	78.9	66.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	49.8	42.7	35.6	38.4	24.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	2.0	0.4	0.8	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	116.9	507.8	283.7	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。  
2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。  
3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。  
4. 2018年8月期及び2022年8月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社は、2021年10月14日付け公表の「第3次中期経営計画 “Challenge”」に基づき、「Challenge」をテーマに掲げ、中期経営戦略として「成長への投資」と「持続的成長に向けた経営基盤づくり」を推進し、2024年8月期における定量的目標を連結売上高150億円、連結E B I T D A 15億円、3カ年の投資枠目標金額50億円としております。

当該中期経営計画の2年目にあたる2023年8月期につきましては、金属加工事業において、固定価格買取制度に則った、いわゆるF I T案件の太陽電池アレイ支持架台の需要が弱まり、自家消費を主眼に置いた再生可能エネルギー案件に関する需要が増加していくと見込んでおり、金属サンドイッチパネルやその他の金属パネルについても堅調な推移が期待できると考えております。また、建設事業において、株式会社壹会の業績が通期にわたって寄与することを加味し、通期の連結業績見通しにつきましては、売上高9,300百万円（前年同期比26.1%増）、営業利益580百万円（同61.7%増）、経常利益580百万円（同46.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益394百万円（同154.8%増）を予想しております。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の当社グループ全体への影響については限定的で軽微なものと考えております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,308,219	5,753,467
受取手形及び売掛金	1,045,790	—
受取手形	—	174,991
売掛金	—	1,471,531
契約資産	—	648,332
電子記録債権	360,368	419,905
完成工事未収入金	137,870	—
商品及び製品	149,301	143,015
仕掛品	148,575	238,302
未成工事支出金	1,254	20,644
原材料及び貯蔵品	401,388	501,504
その他	109,942	327,783
貸倒引当金	△6,033	△5,119
流動資産合計	8,656,677	9,694,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,589,893	3,423,325
減価償却累計額	△1,492,745	△1,613,934
建物及び構築物(純額)	1,097,147	1,809,391
機械装置及び運搬具	4,746,878	5,156,883
減価償却累計額	△4,189,182	△4,399,480
機械装置及び運搬具(純額)	557,695	757,403
土地	954,142	954,521
リース資産	77,498	109,875
減価償却累計額	△60,580	△69,432
リース資産(純額)	16,917	40,443
建設仮勘定	679,360	660,000
その他	441,828	480,629
減価償却累計額	△398,524	△431,064
その他(純額)	43,303	49,564
有形固定資産合計	3,348,566	4,271,323
無形固定資産		
のれん	11,258	237,533
その他	75,600	70,748
無形固定資産合計	86,859	308,282
投資その他の資産		
投資有価証券	43,606	43,378
繰延税金資産	60,051	79,338
その他	38,924	85,450
貸倒引当金	△14,014	—
投資その他の資産合計	128,569	208,167
固定資産合計	3,563,995	4,787,773
資産合計	12,220,672	14,482,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	173,467	275,687
工事未払金	81,048	301,915
契約負債	—	5,768
短期借入金	580,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	209,628	522,791
リース債務	9,556	15,699
未払法人税等	128,789	169,858
賞与引当金	15,951	40,944
その他	731,625	431,422
流動負債合計	1,930,066	2,264,088
固定負債		
長期借入金	338,865	2,065,020
リース債務	6,144	27,982
退職給付に係る負債	101,815	156,915
資産除去債務	99,008	101,362
その他	9,654	138,774
固定負債合計	555,486	2,490,055
負債合計	2,485,552	4,754,143
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	8,122,139	8,113,015
自己株式	△747,361	△713,003
株主資本合計	9,648,714	9,673,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△594	△1,784
その他の包括利益累計額合計	△594	△1,784
新株予約権	87,000	55,825
純資産合計	9,735,120	9,727,988
負債純資産合計	12,220,672	14,482,132



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
売上高	7,534,636	7,374,639
売上原価	5,888,098	5,712,098
売上総利益	1,646,537	1,662,541
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	183,460	182,652
役員報酬	238,220	207,445
給料及び手当	282,961	341,597
賞与	44,617	43,166
賞与引当金繰入額	3,255	4,360
退職給付費用	6,359	10,839
貸倒引当金繰入額	0	795
研究開発費	40,423	10,288
その他	393,507	502,781
販売費及び一般管理費合計	1,192,806	1,303,925
営業利益	453,731	358,615
営業外収益		
受取利息	101	113
受取配当金	1,712	2,092
匿名組合投資利益	—	18,937
受取家賃	5,436	4,947
補助金収入	64,135	17,001
その他	11,447	9,354
営業外収益合計	82,833	52,447
営業外費用		
支払利息	5,275	12,403
匿名組合投資損失	1,143	—
その他	1,541	1,898
営業外費用合計	7,960	14,302
経常利益	528,604	396,760
特別利益		
固定資産売却益	5,367	9
特別利益合計	5,367	9
特別損失		
固定資産売却損	1,690	30
固定資産除却損	860	8,154
投資有価証券評価損	4,298	—
投資有価証券売却損	—	16
減損損失	10,875	20,888
特別損失合計	17,725	29,089
税金等調整前当期純利益	516,246	367,680
法人税、住民税及び事業税	193,128	231,132
法人税等調整額	△104,007	△18,084
法人税等合計	89,121	213,048
当期純利益	427,125	154,632
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	427,125	154,632

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
当期純利益	427,125	154,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,433	△1,190
その他の包括利益合計	6,433	△1,190
包括利益	433,559	153,441
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	433,559	153,441
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,176,968	1,096,968	7,855,630	△747,361	9,382,204
当期変動額					
剰余金の配当			△160,616		△160,616
親会社株主に帰属する 当期純利益			427,125		427,125
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	266,509	—	266,509
当期末残高	1,176,968	1,096,968	8,122,139	△747,361	9,648,714

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△7,028	△7,028	74,312	9,449,489
当期変動額				
剰余金の配当				△160,616
親会社株主に帰属する 当期純利益				427,125
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	6,433	6,433	12,687	19,121
当期変動額合計	6,433	6,433	12,687	285,630
当期末残高	△594	△594	87,000	9,735,120

当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,176,968	1,096,968	8,122,139	△747,361	9,648,714
会計方針の変更による 累積的影響額			—		—
会計方針の変更を反映し た当期首残高	1,176,968	1,096,968	8,122,139	△747,361	9,648,714
当期変動額					
剰余金の配当			△160,616		△160,616
親会社株主に帰属する 当期純利益			154,632		154,632
自己株式の処分		△3,139		34,357	31,218
利益剰余金から資本剰 余金への振替		3,139	△3,139		—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△9,123	34,357	25,234
当期末残高	1,176,968	1,096,968	8,113,015	△713,003	9,673,948

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	△594	△594	87,000	9,735,120
会計方針の変更による 累積的影響額				—
会計方針の変更を反映し た当期首残高	△594	△594	87,000	9,735,120
当期変動額				
剰余金の配当				△160,616
親会社株主に帰属する 当期純利益				154,632
自己株式の処分			△31,175	43
利益剰余金から資本剰 余金への振替				—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△1,190	△1,190		△1,190
当期変動額合計	△1,190	△1,190	△31,175	△7,131
当期末残高	△1,784	△1,784	55,825	9,727,988

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	516,246	367,680
減価償却費	352,214	362,296
減損損失	10,875	20,888
のれん償却額	34,237	26,292
株式報酬費用	12,687	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,748	△14,928
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	18,810
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,079	17,140
受取利息及び受取配当金	△1,814	△2,206
補助金収入	△64,135	△17,001
支払利息	5,275	12,403
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,298	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	16
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,676	21
固定資産除却損	860	8,154
売上債権の増減額 (△は増加)	424,142	△650,549
棚卸資産の増減額 (△は増加)	367,928	△195,433
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,343	166,898
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,904	△192,349
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△61,298	△299,999
その他	△35,223	35,648
小計	1,562,493	△336,216
利息及び配当金の受取額	1,814	2,206
補助金の受取額	70,740	17,001
利息の支払額	△5,222	△12,353
法人税等の支払額	△148,311	△189,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,481,512	△519,153
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△74,483	380,175
有形固定資産の取得による支出	△757,490	△1,250,951
有形固定資産の売却による収入	6,382	1,559
無形固定資産の取得による支出	△25,058	△38,851
投資有価証券の取得による支出	△518	△645
投資有価証券の売却による収入	—	760
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	246,836
その他	314	△12,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△850,853	△673,585
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000	△437,472
長期借入れによる収入	20,000	2,350,000
長期借入金の返済による支出	△208,292	△926,789
社債の償還による支出	—	△260,000
自己株式の売却による収入	—	43
設備関係割賦債務の返済による支出	△373	—
リース債務の返済による支出	△17,137	△15,284
配当金の支払額	△160,092	△160,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405,895	550,172
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	224,763	△642,565
現金及び現金同等物の期首残高	5,470,693	5,695,456
現金及び現金同等物の期末残高	5,695,456	5,052,891

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による、連結財務諸表に与える影響はありません。

収益認識会計基準を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」及び「完成工事未収入金」は、当連結会計年度より「受取手形」、「売掛金」及び「契約資産」に含めて表示し、「流動負債」に表示していた「その他」は、当連結会計年度より「契約負債」及び「その他」に含めて表示しております。ただし、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「金属加工事業」、「ゴム加工事業」及び「建設事業」の3つを報告セグメントとしております。

「金属加工事業」は、太陽電池アレイ支持架台、金属パネル、空調用ダンパー他金属加工製品の企画、設計、加工、販売の事業であります。

「ゴム加工事業」は、住宅、機械、公共インフラ設備等に使用するゴム製品の企画、設計、加工、販売の事業であります。

「建設事業」は、上記事業に付随する建設事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,293,193	1,092,795	1,148,647	7,534,636	—	7,534,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78,811	2,207	1,791	82,810	△82,810	—
計	5,372,005	1,095,002	1,150,438	7,617,446	△82,810	7,534,636
セグメント利益	499,552	217,488	34,939	751,980	△298,249	453,731
セグメント資産	5,152,240	1,051,939	520,789	6,724,968	5,495,704	12,220,672
その他の項目						
減価償却費	310,511	17,639	1,473	329,624	22,589	352,214
のれん償却額	13,510	20,727	—	34,237	—	34,237
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	794,014	516	—	794,530	13,587	808,117

(注) 1. セグメント利益の調整額△298,249千円は、セグメント間取引消去21,003千円及び、各報告セグメントに配分していない全社費用△319,252千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額5,495,704千円は、セグメント間債権債務等消去△5,940千円、各報告セグメントに配分していない全社資産5,501,644千円であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,418,487	1,116,762	1,839,389	7,374,639	—	7,374,639
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,418,487	1,116,762	1,839,389	7,374,639	—	7,374,639
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66,383	1,619	—	68,002	△68,002	—
計	4,484,871	1,118,381	1,839,389	7,442,642	△68,002	7,374,639
セグメント利益	256,703	259,146	150,668	666,518	△307,902	358,615
セグメント資産	6,678,888	976,269	2,033,582	9,688,739	4,793,392	14,482,132
その他の項目						
減価償却費	317,455	14,069	1,683	333,208	29,088	362,296
のれん償却額	11,258	—	15,033	26,292	—	26,292
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,258,414	1,040	865	1,260,320	49,159	1,309,479

- (注) 1. セグメント利益の調整額△307,902千円は、セグメント間取引消去27,383千円、子会社株式の取得関連費用△28,161円及び、各報告セグメントに配分していない全社費用△307,124千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額4,793,392千円は、セグメント間債権債務等消去△41,803千円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,835,195千円であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	合計
外部顧客への売上高	5,293,193	1,092,795	1,148,647	7,534,636

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
戸田建設株式会社	1,296,558	金属加工事業、建設事業



当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	合 計
外部顧客への売上高	4,418,487	1,116,762	1,839,389	7,374,639

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位: 千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	全社・消去	合 計
減損損失	10,875	—	—	—	10,875

当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位: 千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	全社・消去	合 計
減損損失	—	—	20,888	—	20,888

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位: 千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	全社・消去	合 計
当期償却額	13,510	20,727	—	—	34,237
当期末残高	11,258	—	—	—	11,258

当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位: 千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	全社・消去	合 計
当期償却額	11,258	—	15,033	—	26,292
当期末残高	—	—	237,533	—	237,533

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
1株当たり純資産額	1,501.73円	1,495.47円
1株当たり当期純利益	66.48円	23.99円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	65.26円	23.71円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	427,125	154,632
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	427,125	154,632
普通株式の期中平均株式数(株)	6,424,650	6,444,762
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	119,880	76,877
(うち新株予約権(株))	(119,880)	(76,877)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 生産、受注及び販売の実績

##### ① 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	3,351,219	84.7
ゴム加工事業	537,278	97.5
合計	3,888,497	86.2

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。  
2. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

##### ② 受注実績

当連結会計年度の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	4,260,759	104.4	1,228,375	91.9
ゴム加工事業	1,134,102	101.6	119,251	117.0
建設事業	3,461,128	395.8	2,800,346	—
合計	8,855,990	145.8	4,147,972	259.0

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

##### ③ 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	4,418,487	83.5
ゴム加工事業	1,116,762	102.2
建設事業	1,839,389	160.1
合計	7,374,639	97.9

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 最近2連結会計年度の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)		当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
戸田建設株式会社	1,296,558	17.2	—	—

当連結会計年度の戸田建設株式会社については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。